

「スーパーテキストシリーズ 令和5年度 分野別 問題解説集 1級建築施工管理技術検定試験 第二次検定」の349ページと350ページに関する規格改正情報

日本建築学会(JASS)の「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」の改正により、弊社書籍に掲載されている「バーサポートおよびスペーサの種類および数量・配置の標準(JASS5)」の表は、下記のように変更します。これと合わせて、弊社書籍に記載されている「鋼製またはコンクリート製」に関する記述は「鋼製・コンクリート製・モルタル製のいずれか」に変更されます。

鉄筋のサポートおよびスペーサの種類・配置の標準

部材	スラブ	梁	柱
種類	鋼製・コンクリート製 ・モルタル製	鋼製・コンクリート製 ・モルタル製	鋼製・コンクリート製 ・モルタル製
配置	上端筋、下端筋それぞれ 間隔は0.9m程度 端部は0.1m以内	間隔は1.5m程度 端部は0.5m程度	上段は梁下より0.5m程度 中段は上段より1.5m間隔程度 柱幅方向は1.0m以下2個 1.0mを超え3個
備考		上または下いずれかと、側面の両側へ対称に設置	同一平面に点対称となるように設置
部位	基礎	基礎梁	壁・地下外壁
種類	鋼製・コンクリート製 ・モルタル製	鋼製・コンクリート製 ・モルタル製	鋼製・コンクリート製 ・モルタル製
配置	間隔は0.9m程度	間隔は1.5m程度 端部は0.5m程度	上段は梁下より0.5m程度まで 中段は上段より1.5m間隔程度 横間隔は1.5m程度 端部は0.5m程度
備考	基礎の四隅と柱の四隅に設置	上または下いずれかと、側面の両側へ対称に設置	
[注] (1) スペーサは側面に限りプラスチック製でもよい。 (2) 断熱材打込み時のスペーサは支持重量に対して、めり込まない程度の設置面積を持ったものとする。			

「スーパーテキストシリーズ 令和5年度 分野別 問題解説集 1級電気工事施工管理技術
検定試験 第二次検定」の17ページと219ページに関する規格改正情報

日本産業規格(JIS)の「JIS C 6960 ルーティング機器及びスイッチング機器のエネルギー消費効率の測定方法」の改正により、ルータの小型・大型の分類に関する規定が削除されました。弊社書籍に記載されている「小型・大型の分類」に関する解答は、下記のように変更します。これと合わせて、219ページに記載されている(3)の解説は削除になります。

キーワード：パケット交換技術（動作原理）

技術的な内容	パケット(一定の単位で区切られたデータ)を処理するルータは、ヘッダの宛先を見て相手のコンピュータに届くように制御している。
--------	---